

# 2012年3月期 決算説明資料

---



KANEMATSU CORPORATION

2012年5月21日

本説明会・資料における当社グループの今後の計画・見通し・戦略等、将来に関する記載は、当社が現時点において把握可能な情報をもとに判断したものであり、これらは様々なリスクや不確実性が内在しております。従って、経営環境の変化、未知のリスクの顕在化、およびその他様々な要因により、実際の業績等の結果は大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。



---

1.	2012年3月期 決算説明	...	3
2.	2013年3月期 業績見通し	...	20
3.	Appendix	...	28



---

1

## 2012年3月期 決算説明



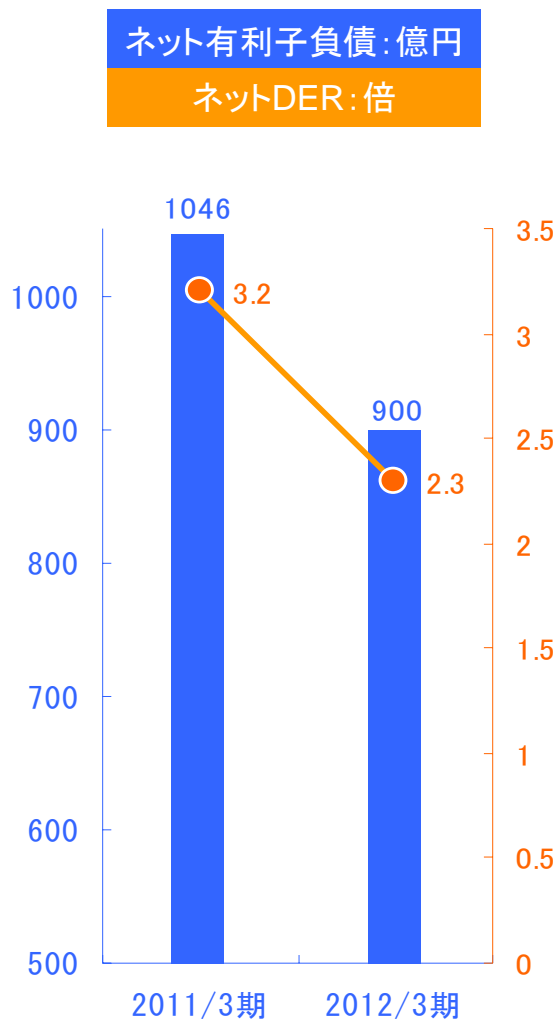
## 2012年3月期 決算ハイライト (P/L項目)

### 売上高、営業利益、経常利益は増収・増益

(億円)	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率
売上高	9,369	10,064	695	7%
営業利益	180	214	34	19%
経常利益	143	178	35	25%
当期純利益	92	<u>61</u>	<u>-31</u>	<u>-33%</u>
(参考)包括利益	51	<u>72</u>	<u>20</u>	<u>40%</u>

- 取扱量の増加、商品価格の高騰を背景に増収・増益
- 当期純利益は、税金費用増加により減益

## 財務体質は着実に改善



(億円)	2011年 3月末	2012年 3月末	増減額	増減率
総資産	3,887	3,998	111	3%
純資産	496	560	64	13%
自己資本(注1)	331	390	59	18%
自己資本比率(注2)	8.5%	9.8%		1.3pt改善
グロス有利子負債	1,736	1,608	-128	-7%
ネット有利子負債	1,046	900	-146	-14%
ネットDER(注3)	3.2倍	2.3倍		0.9pt改善

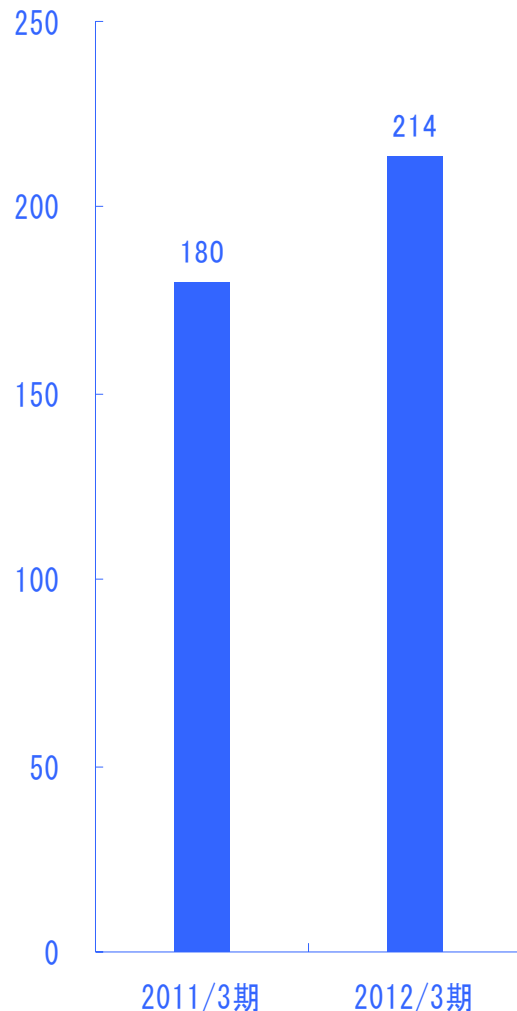
注1: 自己資本=純資産-少数株主持分、注2: 自己資本比率=自己資本/総資産  
注3: ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

- 借入金返済を進め、有利子負債が減少。  
当期純利益による利益剰余金積み上げにより自己資本が増加。  
結果、自己資本比率、ネットDERとも改善。



# 2012年3月期 決算概要 (P/L)

営業利益: 億円

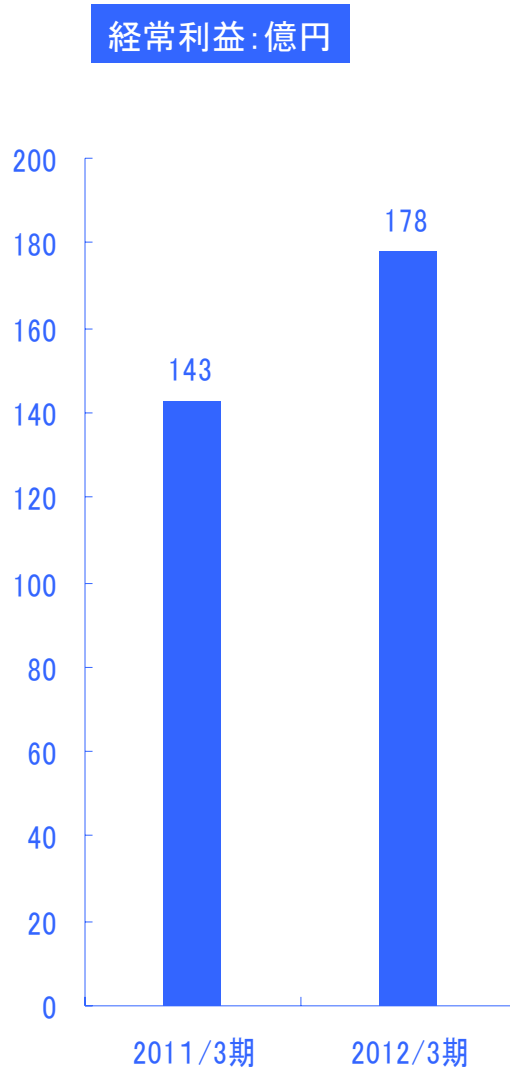


(億円)	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率
売上高	9,369	10,064	695	7%
売上総利益	769	809	40	5%
売上総利益率	8.2%	8.0%	-0.2pt	
販管費	589	595	6	1%
うち、人件費	306	318	11	4%
うち、物件費他	282	277	-5	-2%
営業利益	180	214	34	19%
営業利益率	1.9%	2.1%	0.2pt	

- 商品価格の高騰や国内需要の取り込みにより、売上高・売上総利益が増加。
- 販管費の増加抑制にも努めた結果、営業増益。



# 2012年3月期 決算概要(P/L)



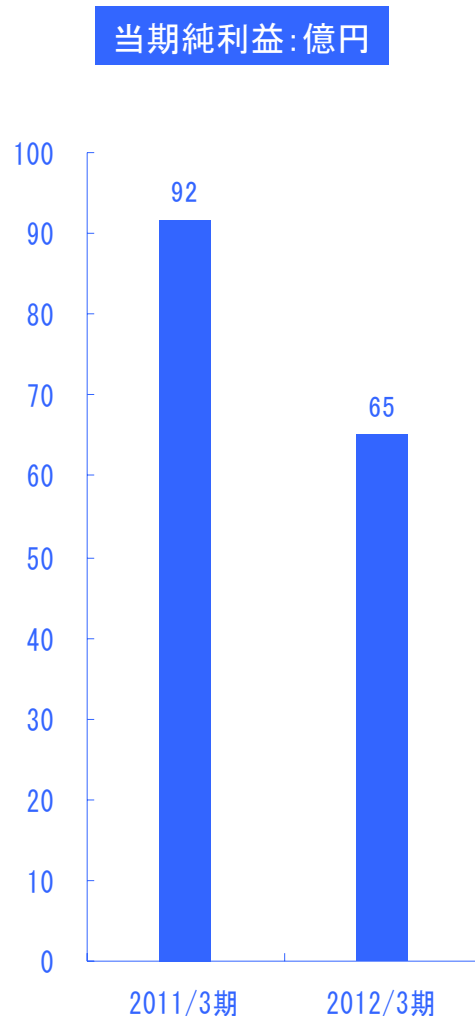
(億円)	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率
<b>営業外収支</b>	<b>-38</b>	<b>-37</b>	1	3%改善
金融収支	-26	-28	-3	—
うち、受取配当金	12	8	-4	—
うち、受取利息	6	5	-1	—
うち、支払利息	-43	-41	2	—
持分法損益	-4	3	6	—
為替差損益	-4	-6	-1	—
その他営業外収支	-4	-5	-1	—
<b>経常利益</b>	<b>143</b>	<b>178</b>	35	25%
<b>基礎的収益力(※)</b>	<b>152</b>	<b>190</b>	38	25%

(※) 基礎的収益力 = 営業利益 + 貸倒引当金繰入額 + 受取配当金 + 金利収支 + 持分法損益

■ 受取配当金が減少したが、持分法損益の改善により、営業外収支は若干良化。



## 2012年3月期 決算概要(P/L)



(億円)	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率
特別損益	-12	<u>-42</u>	<u>-30</u>	-
うち、特別利益	11	3	-8	-73%
うち、特別損失	-24	<u>-45</u>	<u>-22</u>	-
税引前利益	130	<u>135</u>	<u>5</u>	<u>4%</u>
法人税等	-24	-60	-36	-
少数株主利益	-14	-14	0	-1%
当期純利益	92	<u>61</u>	<u>-31</u>	<u>-33%</u>

- 特別損益は、投資有価証券売却損・評価損、関係会社整理損および子会社において厚生年金基金脱退損失を計上し、42億円の損失。
- 税制改正にともなう繰延税金資産の取り崩しにより税金費用が増加し、当期純利益は減益。



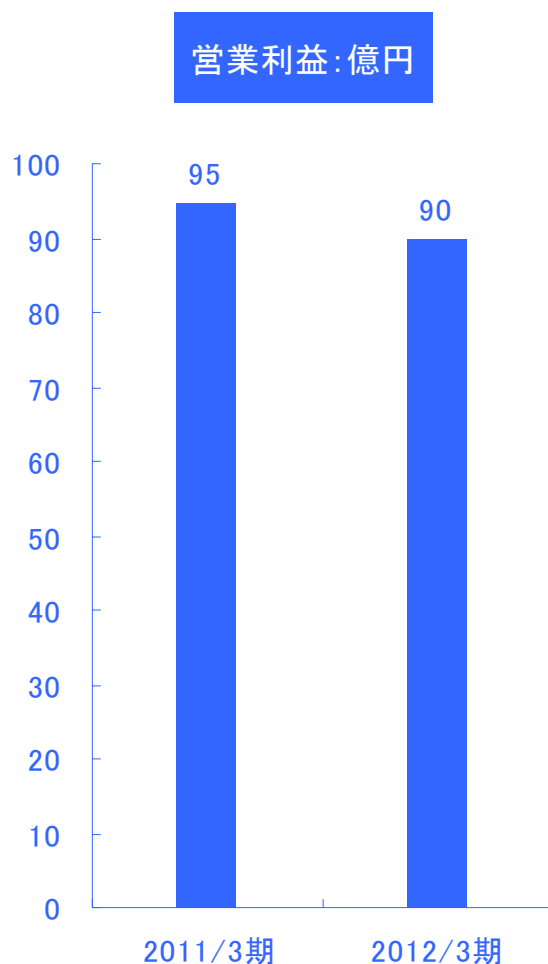


## 2012年3月期 決算概要(セグメント別実績)

(億円)	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率
<b>売上高</b> (外部売上高)	<b>9,369</b>	<b>10,064</b>	695	7%
電子・IT	2,539	2,531	-7	-0%
食品・食糧	2,719	2,921	203	7%
鉄鋼	988	991	3	+0%
機械・プラント	673	704	31	5%
環境・素材	2,275	2,737	462	20%
その他	176	179	3	2%
<b>営業利益</b>	<b>180</b>	<b>214</b>	34	19%
電子・IT	95	90	-5	-5%
食品・食糧	28	52	24	83%
鉄鋼	34	36	2	6%
機械・プラント	11	14	4	36%
環境・素材	10	20	10	102%
その他(含む調整額)	3	2	-1	-31%



## 2012年3月期 通期実績(電子・IT)



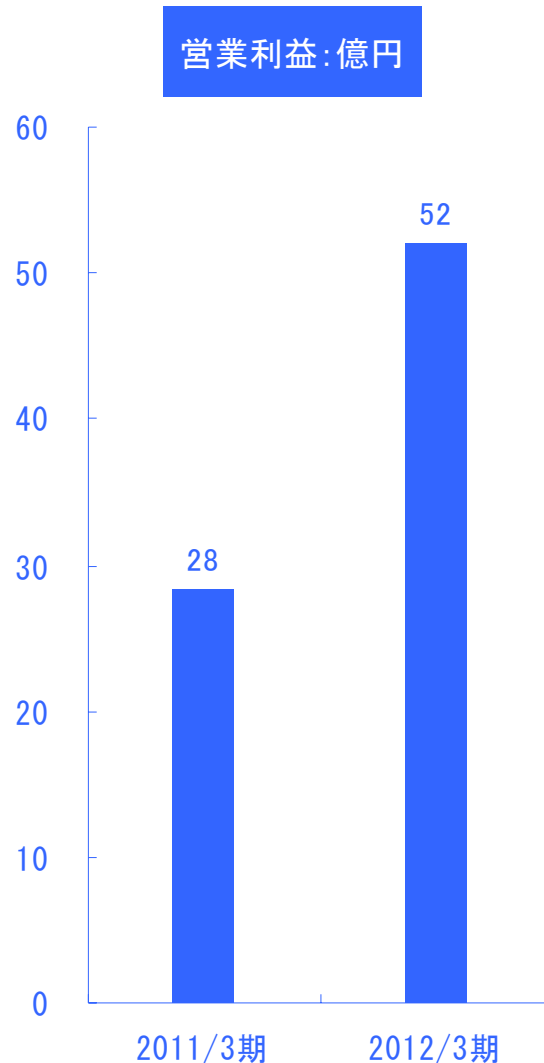
(億円)	2011/3 通期実績	2012/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	2,539	2,531	-7	0%
売上総利益	411	413	2	0%
営業利益	95	90	-5	-5%

### 2012年3月期実績のポイント

- ICT・モバイルソリューション事業は、スマートフォン等の市場拡大を受け、好調に推移。
- 半導体事業は、震災等による外部環境の悪化、需要落ち込みもあり、低調に推移。



# 2012年3月期 通期実績(食品・食糧)



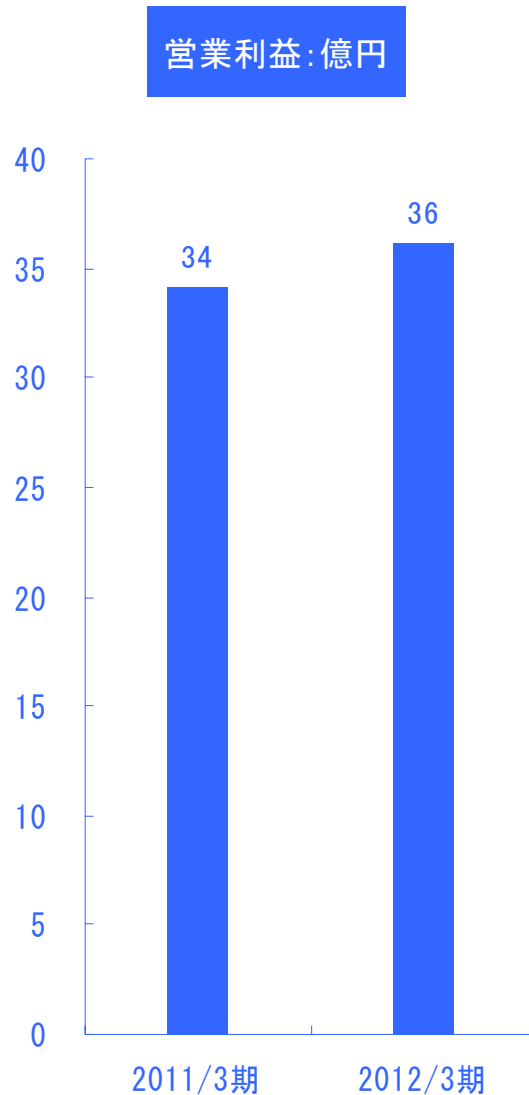
(億円)	2011/3 通期実績	2012/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	2,719	2,921	203	7%
売上総利益	115	137	22	19%
営業利益	28	52	24	83%

## 2012年3月期実績のポイント

- 輸入畜産物の販売が底堅く推移したことに加え、需給環境が安定していた食品事業は調理食品や加工食品を中心に好調に推移。
- 食糧事業は、飼料販売における取引先との関係強化および販路拡大への取組みが奏功し、収益に貢献。



## 2012年3月期 通期実績(鉄鋼)



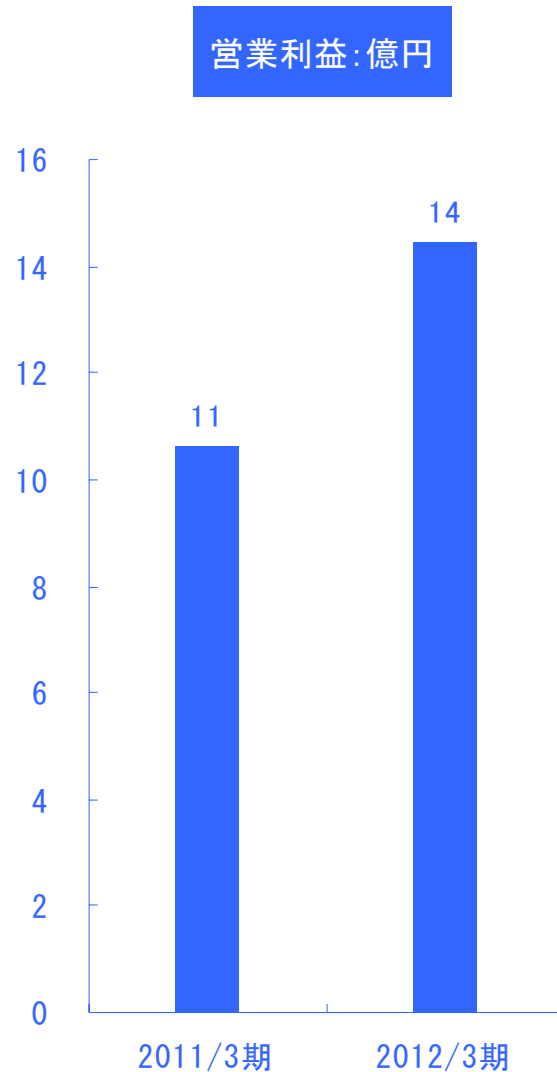
(億円)	2011/3 通期実績	2012/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	988	991	3	0%
売上総利益	70	74	4	6%
営業利益	34	36	2	6%

### 2012年3月期実績のポイント

- 北米・アジア向け特殊鋼取引好調。
- 欧米自動車用途向け取引が引き続き活発に推移し、収益が増加。



## 2012年3月期 通期実績(機械・プラント)



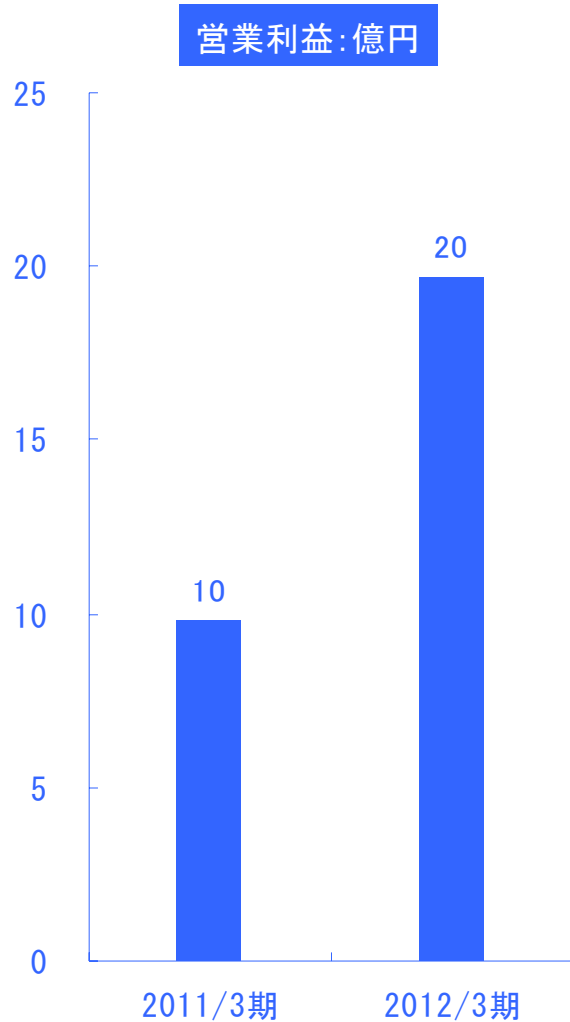
(億円)	2011/3 通期実績	2012/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	673	704	31	5%
売上総利益	65	70	5	8%
営業利益	11	14	4	36%

### 2012年3月期実績のポイント

- 工作機械取引は、国内の需要回復に支えられ、好調に推移。
- プラント関連取引は、ODA関連のプロジェクトが増加し、改善。



## 2012年3月期 通期実績(環境・素材)



(億円)	2011/3 通期実績	2012/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	2,275	2,737	462	20%
売上総利益	84	92	8	10%
営業利益	10	20	10	102%

### 2012年3月期実績のポイント

- エネルギー事業は、電力会社向け重油販売の増加を背景に大幅な収益増。
- 化学品事業は、車載用電池原料の輸出および医薬品原料の輸入取引が堅調に推移。



## “S-Project” 2年度の進捗

### P/L: 2年度計画を達成

(億円)	2012年3月期		計画比 増減額	計画比 増減率
	“S-Project” 計画	実績		
売上高	9,500	10,064	564	6%
売上総利益	775	809	34	4%
販管費	605	595	-10	-2%
営業利益	170	214	44	26%
経常利益	120	178	58	48%
当期純利益	55	<u>61</u>	<u>6</u>	<u>11%</u>



## “S-Project” 2年度の進捗

### B/S: 財務体質は順調に改善

(億円)	2012年3月期		計画比 増減額	計画比 増減率
	“S-Project” 計画	実績		
総資産	4,040	3,998	-42	-1%
自己資本	385	390	5	1%
自己資本比率	9.5%	9.8%	+0.3pt	
グロス有利子負債	1,770	1,608	-162	-9%
グロスDER (倍)	4.6	4.1	-0.5pt	
現預金	850	708	-142	-17%
ネット有利子負債	920	900	-20	-2%
ネットDER (倍)	2.4	2.3	-0.1pt	



## 調理食品・加工食品の開発・提案

- ◆加工段階での工夫や開発を食品メーカーやコンビニ向けに提案、仕組みの提供によりコストや手間も軽減
- ◆大手コンビニエンスストア、量販店で採用
  - ・赤飯キット⇒品質の安定した美味しいお赤飯を大量生産できる特許製法（特許第4875729号）
  - ・おでんの玉子⇒長時間煮込んでも白身が硬くならない
- ◆海外展開が進むコンビニへの商材提供
  - ・兼松の役割
    - ⇒ 高付加価値商品やメニューの企画・開発
    - ⇒ セントラルキッチンといったプラットフォームの構築



## 門司港サイロを建設

- ◆ 門司港運、飼料メーカー、需要家それぞれのニーズを把握し、コーディネーション機能を果たす
- ◆ 兼松、門司港運、協同飼料の3社共同で門司港サイロを建設
  - ⇒ 九州地区における新たな供給基地
    - ・ トウモロコシ、大豆粕など飼料原料  
1万6000トン収容可能
    - ・ 薫蒸設備、粉碎設備を備える
    - ・ 門司港への大型外航船による直接搬入が可能
      - ⇒ 物流の大幅な効率化
      - ⇒ 関門地区の畜産業発展に寄与





# “S-Project” 2年目のトピックス

## インドネシアで自動車部品の合弁設立

- ◆自動車部品メーカーの海外進出支援
- ◆インドネシア自動車市場の急激な伸張に伴う  
日系自動車メーカーの進出に合わせ、  
樹脂製燃料タンクの供給体制を整備
  - ・総投資額 約19億円
  - 八千代工業
  - PT. Prospect Motor
  - 兼松
  - ・2013年8月営業開始予定
- ◆既存販売先以外の新たな販売先開拓も視野に





2

2013年3月期 業績見通し



## 2013年3月期 業績見通し

(億円)	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期見通し	増減額	増減率
売上高	10,064	10,500	436	4%
営業利益	214	200	-14	-7%
経常利益	178	160	-18	-10%
当期純利益	<u>61</u>	80	<u>19</u>	<u>31%</u>

- 欧州債務問題、中国およびアジア新興国における経済減速等が懸念され、不透明な状況が継続。
- 事業拡大戦略による先行費用等を折り込む。

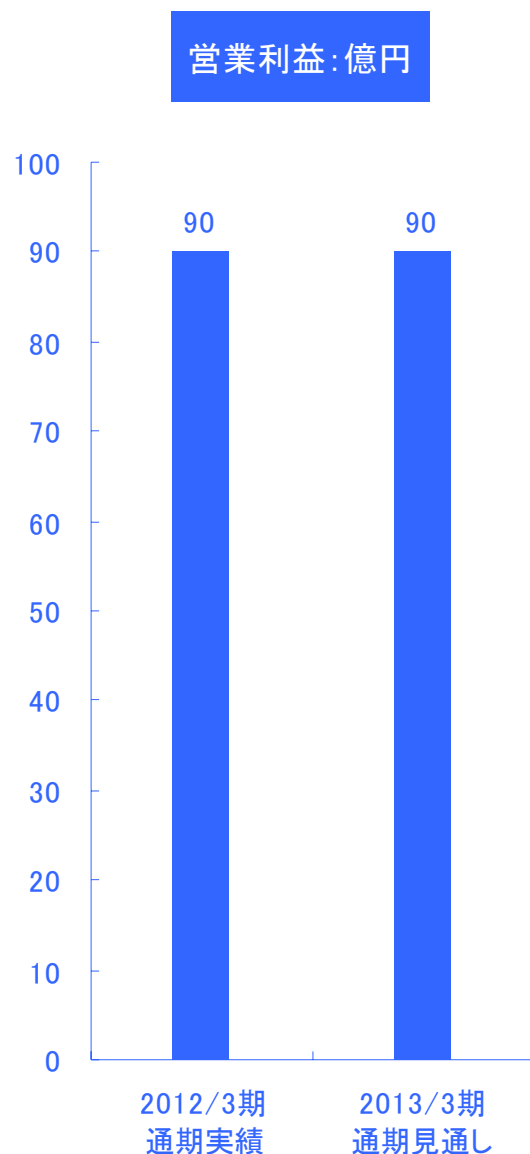


## 2013年3月期 業績見通し(セグメント別見通し)

(億円)	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期見通し	増減額	増減率
<b>売上高</b> (外部売上高)	<b>10,064</b>	<b>10,500</b>	436	4%
電子・IT	2,531	2,650	119	5%
食品・食糧	2,921	3,100	179	6%
鉄鋼	991	1,050	59	6%
機械・プラント	704	700	-4	-1%
環境・素材	2,737	2,850	148	4%
その他	179	150	-29	-16%
<b>営業利益</b>	<b>214</b>	<b>200</b>	-14	-7%
電子・IT	90	90	0	0%
食品・食糧	52	50	-2	-4%
鉄鋼	36	35	-1	-3%
機械・プラント	14	10	-4	-31%
環境・素材	20	15	-5	-24%
その他(含む調整額)	2	0	-2	-



# 2013年3月期 業績見通し(電子・IT)



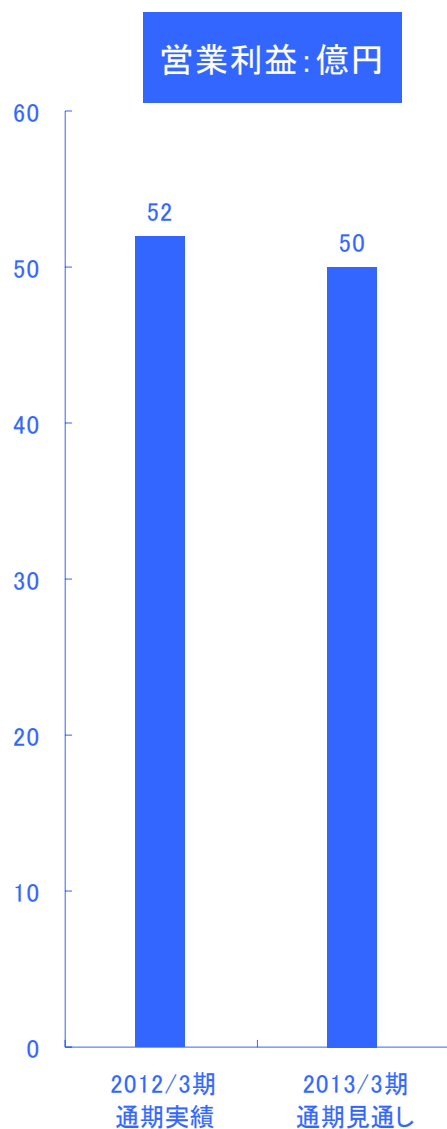
(億円)	2012/3期 通期 実績	2013/3期		
		通期 見通し	増減額	増減率
売上高	2,531	2,650	119	5%
売上総利益	413	425	12	3%
営業利益	90	90	0	0%

## 2013年3月期 業績見通しのポイント

- ICT・モバイルソリューション事業は、今後もスマートフォンの伸長に合わせ、比較的堅調に推移する見込み。
- 半導体事業は、前期並みを見込む。



# 2013年3月期 業績見通し(食品・食糧)



(億円)	2012/3期 通期 実績	2013/3期		
		通期 見通し	増減額	増減率
売上高	2,921	3,100	179	6%
売上総利益	137	140	3	2%
営業利益	52	50	-2	-4%

## 2013年3月期 業績見通しのポイント

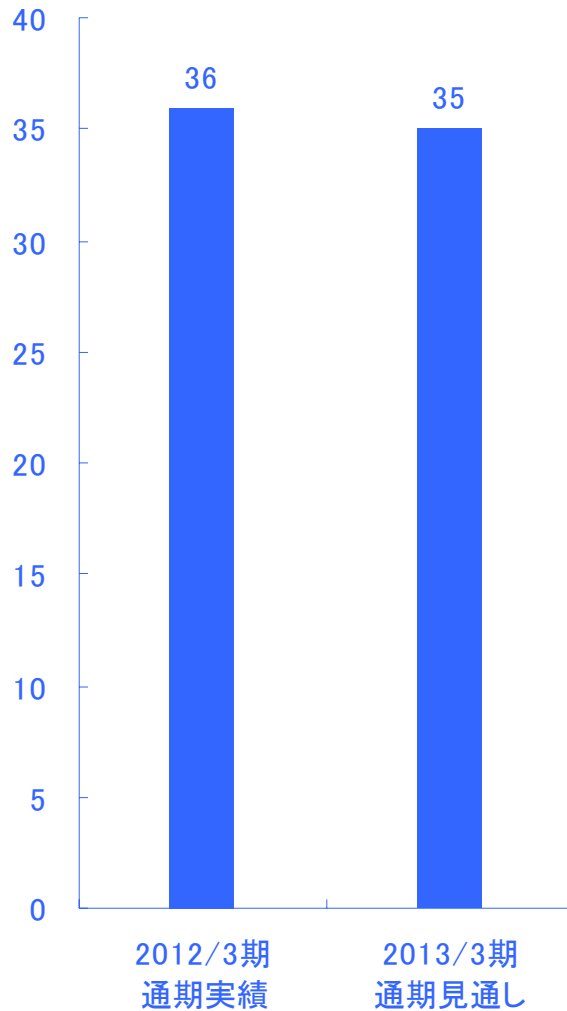
- 食品・食糧事業とも、アジアを重点地域と位置付け、販売体制の強化を図る。
- 食品事業においては、加工食品や調理食品を中心に商材の安定供給と新規提案を通じ、取引の拡大を図る





# 2013年3月期 業績見通し(鉄鋼)

営業利益: 億円



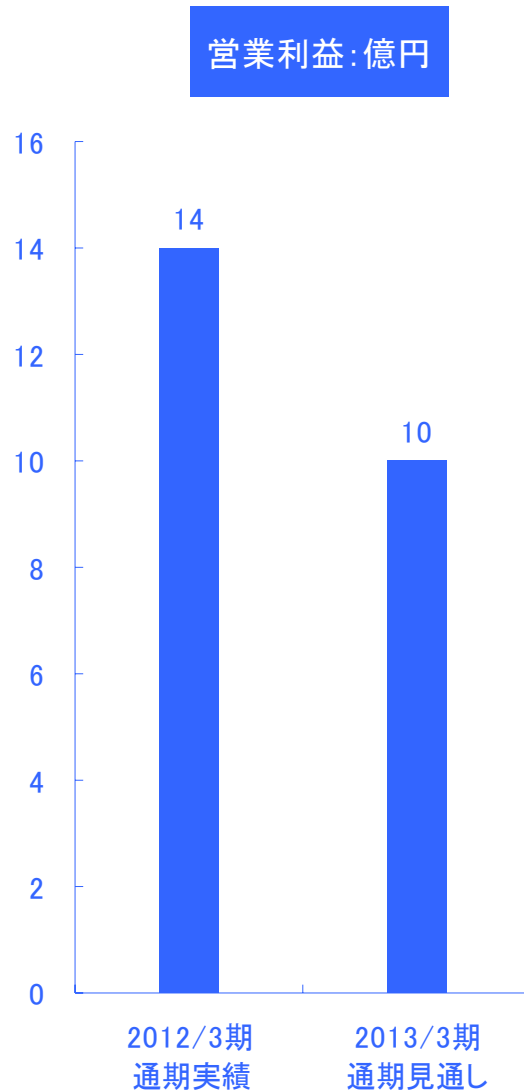
(億円)	2012/3期 通期 実績	2013/3期		
		通期 見通し	増減額	増減率
売上高	991	1,050	59	6%
売上総利益	74	75	1	2%
営業利益	36	35	-1	-3%

## 2013年3月期 業績見通しのポイント

- 北米でのシェールガス掘削需要の高まりを踏まえ、鋼管取引の一層の強化を図る。
- 北米・アジア向け特殊鋼については、今期も好調に推移する見通し。
- 自動車用途向けについては、欧米に加えアジア市場での拡販にも注力し、堅調に推移する見込み。



# 2013年3月期 業績見通し(機械・プラント)



(億円)	2012/3期 通期 実績	2013/3期		
		通期 見通し	増減額	増減率
売上高	704	700	-4	-1%
売上総利益	70	70	0	1%
営業利益	14	10	-4	-31%

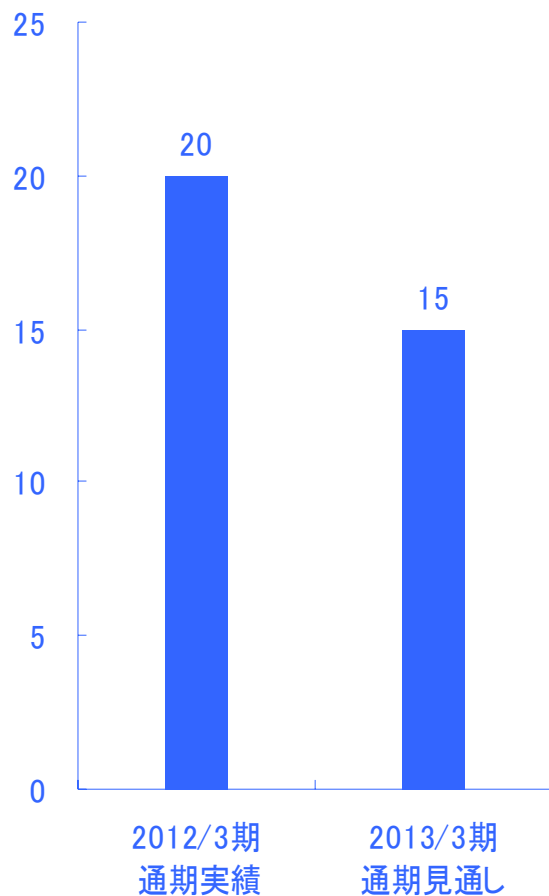
## 2013年3月期 業績見通しのポイント

- 工作機械・産業機械は引き続き堅調に推移。
- ODA関連プラント取引は、得意分野において積極的に受注活動を行う。ただし、デリバリータイミングとのギャップを見込む。



# 2013年3月期 業績見通し(環境・素材)

営業利益:億円



(億円)	2012/3期 通期 実績	2013/3期		
		通期 見通し	増減額	増減率
売上高	2,737	2,850	113	4%
売上総利益	92	90	-2	-2%
営業利益	20	15	-5	-24%

## 2013年3月期 業績見通しのポイント

- 化学品事業は、車載用電池原料取引や医薬品原料取引を中心に堅調な推移を見込む。
- エネルギー事業は、重油販売が引き続き堅調に推移する見込み。








---

# Appendix



# 兼松グループの概要

事業セグメント	主要な事業	主要取扱商品	主要グループ会社
<b>電子・IT</b> 	半導体部品・装置	半導体・電子部品、電子モジュール・部材、半導体・液晶装置	兼松エレクトロニクス 兼松コミュニケーションズ 日本オフィス・システム 兼松エアロスペース 新東亜交易
	機構部品	車載部品、プリンタ関連機器、電子モジュール	
	ICT・モバイル	システムソリューション、通信機器・部品 携帯通信端末、モバイルコンテンツ、モバイル広告	
	航空宇宙	航空機、航空機部品	
<b>食品・食糧</b> 	食品	缶詰・冷凍・ドライフルーツ、ワイン、コーヒー、ココア、砂糖、胡麻、落花生、雑豆、蜂産品、ナッツ、種実類、油脂、乳製品、加工食品	兼松食品 兼松アグリテック 兼松ソイテック 新東亜交易
	畜水産	畜産物、水産物	
	穀物油脂・飼料酪農	小麦、大麦、米、大豆、加工食品、飼料、肥料、ペットフード、ペット用品	
<b>鉄鋼</b> 	鉄鋼貿易	表面処理鋼板、シームレスパイプ	SSOT 兼松トレーディング
	特殊鋼貿易	ステンレス、特殊鋼線材・条鋼	
	鋳鍛造品	精密鍛造品	
	国内鉄鋼・鉄鋼原料	鉄鋼製品全般、鉄鉱石、コークス	
<b>機械・プラント</b> 	輸送機	自動車、船舶、船舶用機材	兼松ケージーケイ
	プラント・インフラプロジェクト	各種プラント、通信案件、ODA案件、光ファイバー、電力プロジェクト	
	工作機械・産業機械	工作機械、産業機械	
<b>環境・素材</b> 	原油・石油製品・ガス	原油、石油製品、LPG、排出権取引	兼松ペトロ 兼松ケミカル 兼松ウェルネス
	機能性化学品	リチウム電池原料、太陽電池関連部材、石油化学製品	
	ライフサイエンス	医薬品、医薬中間体、機能性食品素材、栄養補助食品	



# 関係会社売上高・従業員の状況

## 1: 主要連結対象会社の売上高

(億円)	事業	持分比率	2011年3月期	2012年3月期	増減額
兼松エレクトロニクス	ICTソリューション	58.28%	456	468	+12
兼松コミュニケーションズ	モバイル	100%	974	1,076	+102
兼松食品	食品・畜水産	100%	165	155	-10
兼松アグリテック	飼料酪農	100%	99	123	+24
兼松トレーディング	国内鉄鋼 鉄鋼原料	100%	433	441	+8
兼松ケージーケイ	工作機械 産業機械	97.90%	356	398	+42
兼松ペトロ	石油製品・ガス	100%	1,358	1,450	+92
兼松ケミカル	機能性化学品	100%	178	196	+18
新東亜交易	商社	100%	1,043	1,100	+57
Kanematsu USA Inc.	海外現地法人	100%	753	877	+124

## 2: 従業員の状況

(人)	2011年3月末	2012年3月末	増減数
単 体	832	795	-37
連結子会社	3,938	3,975	+37
合 計	4,770	4,770	0

※従業員は就業人員数

(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む)



# 関係会社の状況

## 1: 連結会社の黒字・赤字会社数推移状況

(社数)	2011年3月期					2012年3月期					前期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字会社	31	33	10	7	81	28	29	13	9	79	2社減
黒字比率	81%	80%	58%	46%	73%	76%	71%	81%	69%	74%	+1pt
赤字会社	7	8	7	8	30	9	12	3	4	28	2社減
合計	38	41	17	15	111	37	41	16	13	107	4社減

## 2: 連結会社の黒字・赤字額推移状況 (連結調整を加味しない単純合算ベース)

(億円)	2011年3月期					2012年3月期					前期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字額	35	11	4	1	52	38	13	2	4	57	+5億円
赤字額	-3	-2	-8	-1	-14	-8	-1	-3	-1	-13	+1億円
合計	33	9	-4	-0	38	31	12	-0	3	45	+7億円



# “S-Project”概要

## ビジョン

世界経済の激変の中で、『事業創造集団』として成長し、社会に貢献していきます。

## 基本コンセプト

- 事業の継続的な選択と集中を推進し、内外の商機を機敏に取り込むことにより、収益基盤の強化を図ります。
- 効率性・健全性を一段と高め、足場固め・経営基盤の強化を図ります。
- お取引先との信頼関係を深め、共に事業創造を追求します。

### 業績目標（2013年3月期）

- 連結売上総利益 800億円
- 連結営業利益 190億円

### 財務目標（2013年3月期）

- 自己資本比率 10%超
- ネットDER 2.0倍程度

可及的早期の復配を目指す



## 収益基盤の強化

- 事業の継続的な選択と集中
- 成長戦略の推進

### 事業ポートフォリオの戦略的構築

『ICT・電子』、『食料』、『環境』、『鉄鋼・プラント』の中で、今後成長の期待出来る事業に経営資源を重点的に配分します。

- ICTビジネス・電子ビジネスの収益増強
  - ⇒ソリューション事業基盤の拡大、中国・アジアでの取組強化
- 食料分野の事業基盤拡大と収益力強化
  - ⇒中国・アジア地域での販路拡大、食資源の供給体制強化
- 太陽電池関連など環境分野における事業基盤拡大と新規ビジネス立ち上げ
  - ⇒ 太陽光・電池分野に注力、EV関連事業への参画
- 鉄鋼・プラント分野における収益基盤拡大
  - ⇒ アジアにおける自動車関連事業の取り組み強化

## 経営基盤の強化

- 財務内容の改善
- 効率経営の推進
- 連結経営システムの高度化・深化
- グローバルな人材育成

### 財務内容の改善

- ネット有利子負債の削減、  
資産ポートフォリオの組み換え

### 効率経営の推進

- 間接部門のスリム化などコスト構造の見直し

### 連結経営システムの高度化・深化

- 新経営管理システムの導入、内部統制整備、  
コンプライアンス取組強化

### グローバルな人材育成

- 連結経営を担う人材育成、海外人員の増強



# “S-Project” 計画・2年度実績

(億円)	2011/3期 実績	2012/3期		2013/3期 計画
		計画	実績	
売上高	9,369	9,500	10,064	10,500
売上総利益	769	775	809	800
販管費	589	605	595	610
営業利益	180	170	214	190
経常利益	143	120	178	140
当期純利益	92	55	61	65
<b>【セグメント別】</b>				
売上高(外部売上高)	9,369	9,500	10,064	10,500
電子・IT	2,539	2,450	2,531	2,600
食品・食糧	2,719	3,000	2,921	3,300
鉄鋼	988	1,000	991	1,150
機械・プラント	673	650	704	700
環境・素材	2,275	2,250	2,737	2,600
その他	176	150	179	150
営業利益	180	170	214	190
電子・IT	95	75	90	80
食品・食糧	28	45	52	50
鉄鋼	34	30	36	35
機械・プラント	11	2	14	4
環境・素材	10	12	20	15
その他(含む調整額)	3	6	2	6

(億円)	2011/3期 実績	2012/3期		2013/3期 計画
		計画	実績	
総資産	3,887	4,040	3,998	4,100
自己資本	331	385	390	450
自己資本比率	8.5%	9.5%	9.8%	10%超
グロス有利子負債	1,736	1,770	1,608	1,690
グロスDER(倍)	5.2	4.6	4.1	3.8
現預金	690	850	708	850
ネット有利子負債	1,046	920	900	840
ネットDER(倍)	3.2	2.4	2.3	2.0倍程度



---

【memo】



---

**兼松株式会社**  
**KANEMATSU CORPORATION**